公表

事業所における自己評価結果

事業所名		荒川区立心身障害者福祉センター		公表日 令和7年3月28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		支援に必要と思われる教具や教材は職場から持参している。	不足する教材等があれば、適宜、購入を含め対応していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		現在利用者が少ないため、支援はできている。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		2	評価表自体が今回初回のため実施していく。支援後の毎回の保護者面談の中でご意見・ご意向を伺うようになっている。	保護者様のご意見・ご意向をいただく中で、よりよい支援が行えるように努めてまいります。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		常に意見を出し合い改善に務めている。	引き続き打合せの時間等を確保できるように取組んでいきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	今回初回のため実施していくことになる。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		自主的に研修を受けている。外部での研修実施ができた。	質の高い支援が行えるように、職員の育成に努めていきます。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		保護者、園への聴取、対象児への行動観察後、支援員が作成している。計画を立てる前、必ず担当が2人体制で訪問先施設での実態を確認している。	アセスメントの在り方についても今後も検証を進めてまいります。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		所内の会議において各専門職にて検討されている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		支援にあたり、とても重要性を感じ大事にしているところである。	今後も連携について意識し取組んでいきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		担当者内での共有の仕組みは作っており、上司への共有確認がなされている。	情報の共有ができる仕組みを構築していきます。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		行動観察の項目を細分化し、評価している。書式も設けながら、とても大事にして取り組んでいる。	日々、検証を行いながら見直しを図ってまいります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		計画に沿いつつも、対象児の状態に合わせて支援している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		書式を設け行っている。	書式等について定期的に見直しを行ってまいります。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		毎回の支援ごとに大切にしているところではあるがより意識していきたい。	今後、支援を行う中で経験値を高めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		自主的に研修に参加している。 外部研修に参加することができた。	今年度実施した研修が継続的に行えるように取り組んでまいります。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		1		参加していく予定であります。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2			
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に行なわれている。		
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		開始前に行われている。より充実していけるよう務めたい。	適切に説明できるように努めてまいります。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		対象児の姿や考えられる理由を説明し、保護者からもご意見をいただきながら実施。面談機会を設け、大切にしていけるようだが、より充実していけるよう務めていきたい。	今後も意向を確認できる機会を大切にしております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		面談機会を必ず設け、実施している。		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		毎回の支援後、必ず面談機会を設けるようにしている。		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		1			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		常時、相談に応じられるように務めているが、充実していけるよう取り組んでいく。	迅速に対応できるように体制を整備していきます。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		1			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				
	訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		毎回の支援後、必ず行なっているが、より充実していけるよう務めていきたい。	今後も訪問先施設等への説明等を丁寧に行ってまいります。
38		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2				
39		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2				

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		契約時に行なっている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		心身障害者福祉センターとして行なわれている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		書式、仕組みが設けられている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		心身障害者福祉センターとして実施されている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	十分な説明に務めていきたい。